

2021  
広報

# にちなん



Nichinan Town Magazine No.914

【特集】日野高校の“今”	…2.3
【新春企画】新春挨拶&まちの5大ニュース	…4.5
オッサンショウオが行く	…6
まちの話題	…10.11
福祉保健課より	…14.15
大好き等	…20
人権センターより	…7
防災、文化センターより	…12
お知らせ	…16.17
教育委員会より	…8.9
図書館、消費生活相談、鳥獣害対策	…13
広報文芸、町長日誌、観光情報等	…18.19



## 雪風に乗り鐘の音響く大仙谷

### 地域に鐘の音を響かせ16年「カネナリ会」

カネナリ会のメンバー  
(敬称略)

青戸正毅、青戸喜確、  
 青戸義春、岸 信秀、  
 北垣寿成、吉川稲生、  
 木山篤志、坪倉 功、  
 坪倉幹也、坪倉 充、  
 坪倉良和、藤原寿郎、  
 松本一俊、山浦弘樹

茶屋大仙谷集落の小高い台地にある常桂寺。平成15年に住職が亡くなり、地域から朝晩の鐘の音が途絶えました。集落の会合で「鐘の音がなくなり、寂しくなった」という声があがり、坪倉博則さんを中心とした地元大仙谷の有志14名による「カネナリ会」が発足しました。平成16年に発足してから16年間、一週間ごとの当番制により地域に鐘の音を響かせ続けています。会員の藤原寿郎さんは、「決まりがゆるいということが長く続いている理由。年に1回住職さんとの会があり、皆で顔を合わせることで繋がりも深まり、お寺の存在も身近になった」「この活動ができたのも、一枚岩の地域だからこそ」と話されました。